

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 兵庫県 神戸市

自治体名：兵庫県神戸市

担当課名：児童生徒課

電話番号：078-984-0728

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

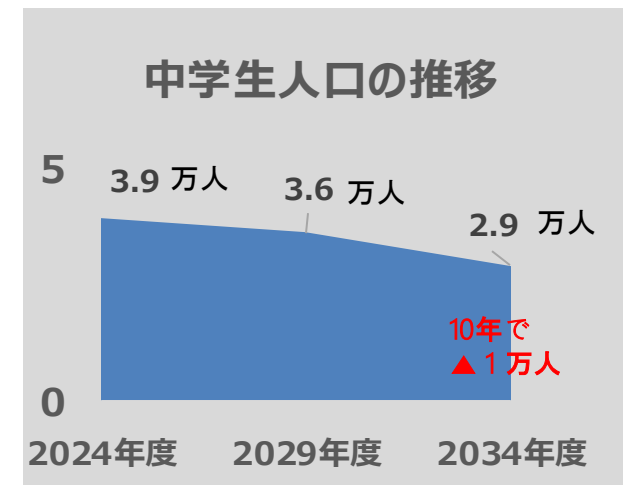
面積	557 km <sup>2</sup>
人口	1,490,896 人 (2025年1月1日 現在)
公立中学校数	82 校
公立中学校生徒数	33,842 人
部活動数	1,108 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	2022年11月 検討委員会設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	2024年12月 方針策定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### ●部活動を取り巻く状況

1. 部活動の選択肢が少ない・選べない
  - ・学年ごとに種目や部活数にバラつきがある
  - ・少子化による廃部・休部の加速
2. 部活動に起因するトラブルの増加
  - ・人間関係のトラブル、苦情、ケガの対応など負担が増大
  - ・教員不足が深刻化する中で教員が顧問を担う仕組みは限界
3. 生徒・保護者の意識の変化
  - ・生徒・保護者のニーズはより「楽しむこと」に変化
  - ・ダンス、料理、釣り、e-スポーツなど部活動種目にはない活動の希望が多い

今後、10年間で中学生が約1万人減少する（現状の3分の2になる）ため、廃部・休部は急激に加速することが見込まれる。思い切って早期に手を打つことで、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保していくことができると考えている。

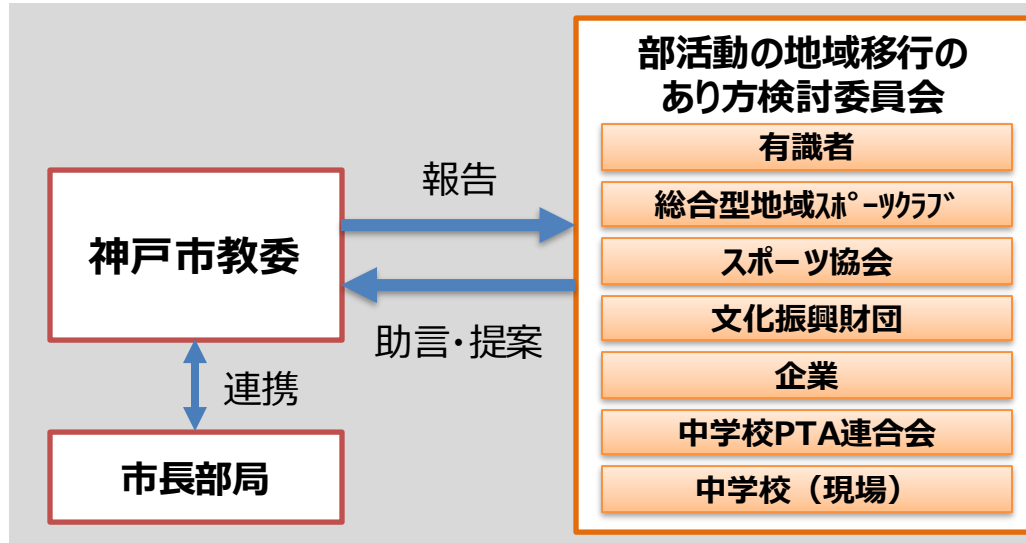


出典:神戸市人口動態より

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

・部活動が教育の一環として取り組まれてきた経緯を踏まえ、教育委員会が責任を持って地域移行を推進している。具体的には、政策検討、実証事業、戦略的広報、地域団体や競技団体等への説明、団体募集、活動場所の調整、団体支援業務など。

##### ◎市長部局

・教育委員会から市スポーツ協会へ、団体の調査・支援業務等を業務委託により実施。  
・競技団体への説明会を開催し、教育委員会から説明を行った。  
・スポーツ協会としては、申請に向けた競技団体からの相談支援などを行った。

### 年間の事業スケジュール

令和6年6月	「中学校部活動地域移行の考え方」について市会報告
令和6年7月	検討委員会の開催（第1回） 児童・保護者アンケートの実施 市スポーツ協会加盟団体への説明会
令和6年8月	「地域移行に向けた調査・活動団体支援業務」委託開始
令和6年9月	「戦略的広報業務」委託開始 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会加盟団体向け説明会
令和6年10月	方針・募集要領等の検討 体験会（実証事業）検討
令和6年11月	次年度予算要求・庁内調整 コベカツ体験会の実施
令和6年12月	活動団体募集開始等に関する教育長会見 検討委員会の開催（第2回）
令和7年1月	1月16日より活動団体募集開始（第1次募集）
令和7年2月	2月16日活動団体の募集終了 コベカツ体験会（第2弾）実施 次年度事業公募開始

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

2025年1月16日～2月16日 活動団体（コベカツクラブ）の第1次募集。620件の申請あり。  
2025年9月から、一部の種目（新種目中心）で先行実施を開始予定。  
2026年8月末、中学校部活動終了（一部の部活動は柔軟に対応）し、9月から平日・休日、コベカツクラブの開始。

#### ②各クラブに関すること【コベカツ体験会 共催団体】



2022年4月NPO法人設立

地域移行を見据えて、2022年4月に設立。中学生を対象として、ラグビー部、フェンシング部、ドラゴンボート部、セーリング部、茶道部、メディア部の活動を定期的に各地で展開中。

#### 岩田 哲也代表の創部の想い

昨今の中学校部活動は、様々な制限がかかり活動自体が年々難しい状況になっています。  
『子供達にとって、とても大切で、かけがえのない多感な時期を何かに夢中になって取り組める環境をしっかりと整えてあげたい』そういった想いを共有する有志が集まりクラブを立ち上げました。



2025年3月 KOBE◆KATSUの参画に向けて、NPO法人設立。

子どもの活動をサポートするために、学校の協力のもと保護者が中心となって創部。「コベカツクラブ」の開始に向けて現在準備中。神戸に「スポーツクライミングのコミュニティ」を広げたいという想いを持って活動している。

スポーツクライミングKOBEが開催する、体験会やジュニアカップなども開催予定。

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- コベカツ体験会（第1弾）実施時期：11月～12月 全10種目（新種目）ボルダラー、ヒップホップダンス、ドッジボール、フェンシング、釣り、ラグビー、料理、茶道、華道など
- コベカツ体験会（第2弾）実施時期：2月～3月 全5種目（新種目）スポーツクライミング、ドローンサッカー®、ゴルフ、少林寺拳法、バトン

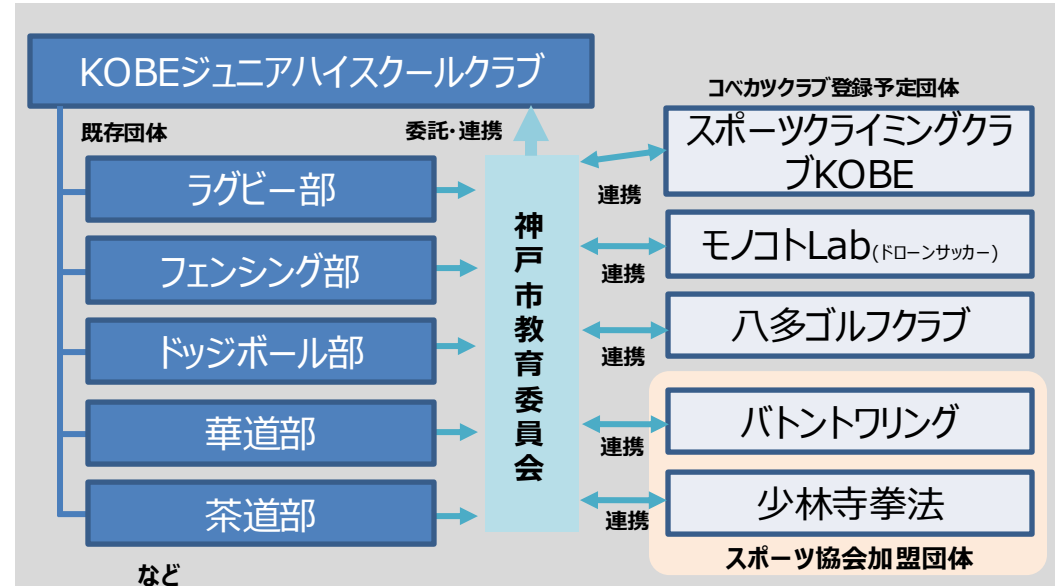
## 2.実証内容と成果

### コベカツ体験会（神戸市単費）

#### ● KOBEジュニアハイスクールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ボルダー、ヒップホップダンス、ドッジボール、フェンシング、釣り、ラグビー、茶道、華道、料理、美文字
運営団体名	KOBEジュニアハイスクールクラブ
期間と日数	コベカツ体験会は、11月・12月に各1回実施。 団体は、すでにラグビー、フェンシング、メディア部など、週1回活動中
指導者の主な属性	民間の有資格者等
活動場所	神戸市立湊翔楠中学校、JR西日本神戸総合グラウンドなど
主な移動手段	公共交通機関
1人あたりの参加会費等（年額）	体験会では無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 実証事業の運営体制図



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

2024年年度

##### ● 統括責任者

役割：実施の調整、団体との打ち合わせ、広報、募集システムの準備など

##### ● 主任指導者 約30名

役割：指導の企画・計画、用具の準備、当日の受付、実施、報告を行う

##### ● 運営補助者 約30名

役割：活動の企画・計画・用具の準備、当日のサポート、記録等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

コベカツが目指す姿である、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保するため、以下の取り組みを進めた。

- ・総合型地域スポーツクラブをはじめとする団体への説明会を開催し、連携を強化
- ・潜在的な活動団体を把握するため調査を実施
- ・コベカツクラブへの参画の課題を解消する支援等を実施

##### 取組の成果

###### 【総合型地域スポーツクラブへのアプローチ】

グラウンドや体育館など、活動場所を確保したいサッカー、バスケットボール、バレーボール等の団体からは、中学校施設を優先的に利用できることについて魅力的であると評価いただいた。また、会長から「これはチャンス。本当の意味での総合型が叶う。」と前向きに捉えていただいた。

###### 【競技団体へのアプローチ】

神戸市スポーツ協会加盟団体のうち、すでに地域で活動している団体を対象にアンケートを実施し、競技団体369団体、総合型地域スポーツクラブ367団体より回答をいただいた。コベカツに参画することへの課題や懸念を解消するため、助言等もおこなった。⇒第1次募集では、バスケット66団体、バレー51団体、サッカー等45団体の申請につながった。

#### 2024年11月神戸市スポーツ協会実施のアンケート調査 (部活動種目についての回答)

行ラベル	個数 / カスタム	合計 / 会員数
⊕・バレーボール	98	1945
⊕・卓球	95	1688
⊕・サッカー	60	5590
⊕・バドミントン	56	1477
⊕・バスケットボール	48	1971
⊕・軟式野球	45	1571
⊕・剣道	41	2742
⊕・テニス	19	2175
⊕・陸上競技	16	896
⊕・ソフトテニス	13	378
⊕・柔道	8	385
⊕・ソフトボール	5	90
⊕・体操	5	370
⊕・水泳	5	7800
⊕・ハンドボール	2	42
総計	516	29120

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターが中学校へヒアリングを行い、課題について整理した。総合型地域スポーツクラブの各区の会議に出席し、コベカツについての理解を深めた。市スポーツ協会加盟団体への説明会の開催および、すでに活動している団体へアンケート調査を行った。さらに個別のヒアリングを行い、コベカツ参画に対する課題を整理した。

##### 今後の課題と対応方針

政令指定都市初の平日・休日を含めた取り組みであり、各種メディア（テレビ各社、雑誌、新聞等）にも取り上げられたことや、活動団体への働きかけにより「KOBE◆KATSU」について広く知っていただけた結果、第1次募集では620件の応募をいただいた。今後、申請が少ないエリアを特定し、地域の活動団体等の掘り起こしを行う。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域移行は全国的な取り組みであるものの、非常に大きな変革であるため、子供たちや保護者は先行きの不透明さに不安を感じている。同様に競技団体や地域の団体も、部活動の仕組みを丸投げされると感じ、不安視している。

そこで、まずは地域移行の必要性や方向性についての理解を得ることが重要であると考え、体験会の開催やホームページ等による情報発信を通じて子供たち・保護者の理解を深め、関係団体等への説明と相談対応に努めた。

また、学校現場においては部活動の仕組みが当たり前のもので存在してきたことから、これまでの取り組みに対する自負もあり、地域移行に対して「無理だろう」という考えが強かった。ただし、これ以上同じ仕組みを継続することの困難さを一番認識していることも事実であり、全く新しい取り組みとなるものの、コベカツの考え方が徐々に浸透していった。

結果的に、コベカツの周知が進み、コベカツクラブの第1次募集では620団体からの申請をいただくなど、本事業の成果としては十分な実績を得ることができた。

#### ●成果の評価

総合型地域スポーツクラブをはじめ、競技団体を中心に多くの団体からコベカツクラブの申請をいただいたことは、実証内容の成果として大いに評価できる。誰も経験したことがない取り組みであり、市としても詳細な説明ができていなかったことから、当初は批判的・懐疑的な意見が多かったが、複数回に渡って説明会を開催し、質問に対して一つひとつ丁寧に対応することができたことがポイントと考えている。

また、これらの機会を通して、市の情報発信の少なさを認識し、その後の広報強化に着手するきっかけとなったことも、成果の1つといえる。特に、地域移行の取り組みが団体にとってどのようなメリットがあるのかについては、生の声を伺うことで改めて認識できたことであり、コベカツクラブの募集の際もうまく発信することができ、多くの申請につながったと考えている。

#### ●今後に向けて

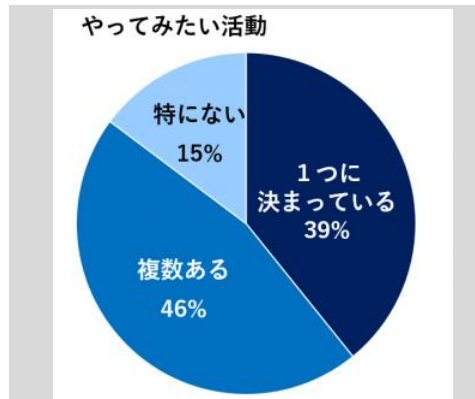
コベカツの開始に向けてスタートラインに立ったところであり、今後は活動場所の調整や更なる活動団体の募集など、多くの課題を抱えている。特に、コベカツクラブの第1次募集では申請が少なかった地域については、活動団体の確保が急務であり、第2次以降の募集に向けて具体的な対策をもって取り組みを進める必要がある。



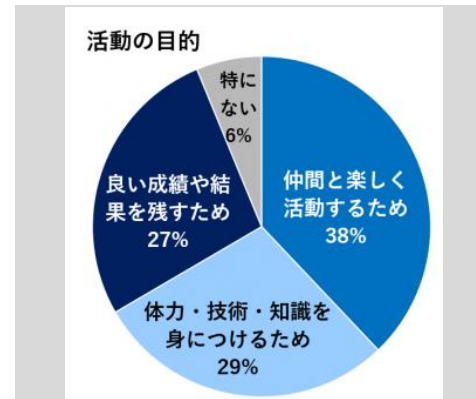
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

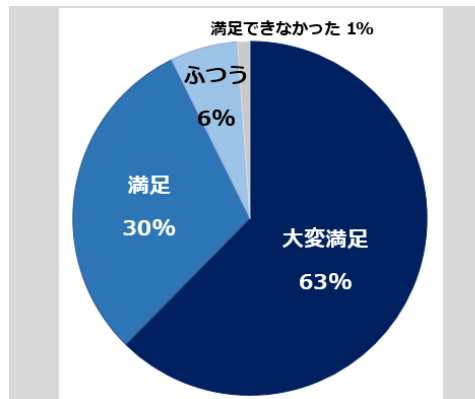
Q.中学生になったら、やってみたい活動  
(児童・保護者アンケート)



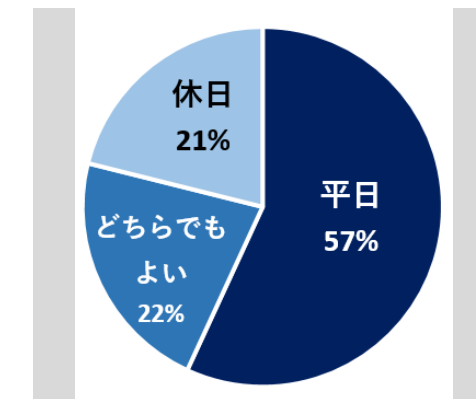
Q.活動の目的  
(児童・保護者アンケート)



Q.満足度  
(体験会アンケート)



Q.試合や発表会以外で、活動は何曜日がいいですか？(体験会アンケート)



### ●参加者の声

#### 体験会に参加した小学5年生（クッキング）

コベカツ体験会は、プロに教えてもらって、自分たちで挑戦(活動)させてもらえて、大満足。自分の力で移動ができるところに、したい活動があることを望む。高校生の登下校の電車代などは補助があるので、小、中学生の学童への移動や、コベカツの移動に補助があると助かる。

#### 体験会に参加した小学5年生（フェンシング）

楽しそうだったので参加しました。  
部活動には無いスポーツなので、大変貴重な体験が出来たと思います。

#### 体験会に参加した小学校6年生（ダンス）

これまでやってきた活動を、習い事のような感覚で好きな活動を自主的に選択して活動できるというのがとても良いと思う。ただ練習だけをするだけで無く、その活動にあったコンテストやコンクール、大会に参加ができるといいなと思う。

#### 体験会に参加した小学5年生の保護者（ドッジボール）

しっかりウォーミングアップしてからボールに触るとい、準備段階も大切で楽しみながら取り組んでいるのが良いなと思いました。部活の残念な所は、特に運動部は引退後希望していても卒業まで半年以上活動がやりたくても出来ないところ。希望すれば受験に向けて頻度を減らしてでも細く長く活動出来るようにして欲しいと思います。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

中学入学後、部活動からコベカツに切り替わる移行期に中学生となる、小学校5・6年生を対象に、コベカツの具体的なイメージと、新たな種目も対象になることを伝えるため、コベカツ体験会を実施した。

第1弾として11月・12月に全10回、部活動にない種目のうち、児童のア

ンケート結果で「中学生になったらやってみたい活動」の上位に入っていた10種目を実施した。アンケートによると活動希望回数は以下のとおり、2024年7月に実施したアンケート結果と同様、塾なども配慮しながら、複数の活動をしたいと考えている児童が多い印象だった。



小学校5・6年生のみなさんへ / コベカツ

### KOBE◆KATSUの体験会に参加してみませんか？

神戸市では、2026年度中に部活動を終了し、コベカツ生徒が地域の方々と共に活動する「KOBE◆KATSU」を開始します。子どもたちや保護者に「コベカツ」の具体的なイメージを持っていただくため、これまでの中学校部活動にはなかった新種目を中心に体験会を実施します。

開催概要は以下の通りです。是非ご参加ください。  
※詳細はホームページでご確認ください。

スポーツ種目

種目	日時	場所(区・町)	定員
ボルダージョ	11.16(土) 8:00~10:00	BOSSA クライミングジム(長田区川西通)	10人
ダンス(ヒップホップ)	11.23(土) 13:30~15:00	フィッシュダンス音楽練習所(中央区メリケンパーク)	20人
ドッジボール	11.24(日) 9:00~11:00	湊翔楠中学校(中央区楠町)	20人
フェンシング	11.24(日) 13:00~15:00	湊翔楠中学校(中央区楠町)	20人
釣り	11.30(土) 8:00~10:00	須磨海づり公園(須磨区ノ谷町)	20人
ラグビー	12.22(日) 9:30~11:30	JR西日本神戸総合グラウンド(須磨区大池町)	30人

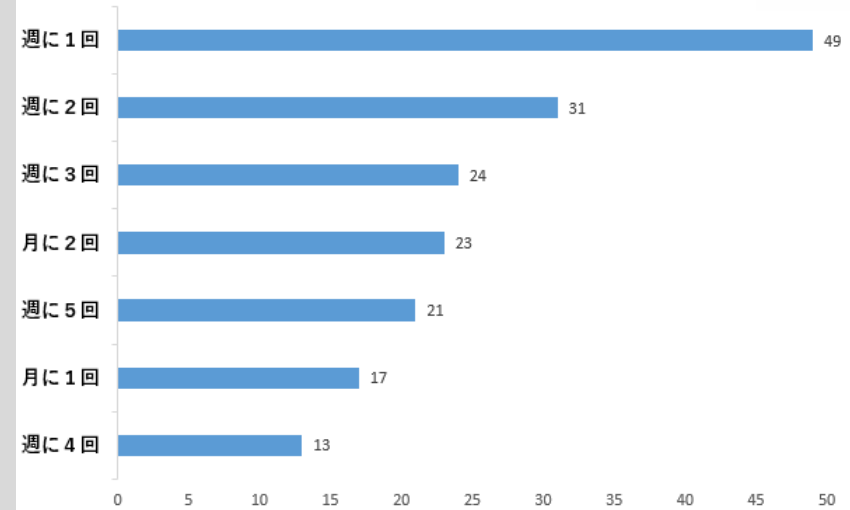
※釣り・参加する児童以外の同伴者は、見守料(大人200円/人、子ども100円/人)が必要です。当日施設にお支払いください。

文化活動

内容	日時	場所(区・町)	定員
茶道	11.10(日) 13:00~15:00	光徳寺(灘区上野通)	20人
華道	11.23(土) 10:00~12:00	湊翔楠中学校(中央区楠町)	20人
料理	11.24(日) 11:00~13:00	湊翔楠中学校(中央区楠町)	15人
美文字(書道)	11.24(日) 14:00~16:00	湊翔楠中学校(中央区楠町)	20人



希望する活動回数

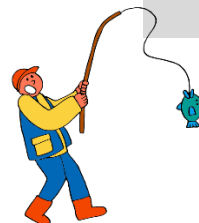


【生徒への参加啓発チラシ】

出典:コベカツ体験会 第1弾チラシ

【コベカツ体験会実施アンケート結果(活動回数について)】

出典:コベカツ体験会第1弾アンケート結果



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）

日新火災海上保険 株式会社の協賛により、ボルダージャパンカップ2024優勝中村 真緒選手が来場されました！

スポーツライミングクラブKOBE主催



2025年2月15日(土)【コベカツ体験会 スポーツライミング】



KOBEジュニアハイスクールクラブ主催

2024年11月30日(土)【コベカツ体験会 Enjoy! フィッシング】

KOBEジュニアハイスクールクラブ主催



KOBEジュニアハイスクールクラブ主催

2024年11月24日(日)【コベカツ体験会 Enjoy! フェンシング】



2024年11月10日(土)【コベカツ体験会 Enjoy! 茶道】

## 2.実証内容と成果

### 地域移行の実施に至るまでの合意形成プロセス

#### 令和3・4年度

国の「地域部活動推進事業」を活用したモデル事業（R3：5校にて休日に専門指導員を配置、R4：3校にて休日の活動を民間委託）を実施し、令和4年度からは「部活動あり方検討委員会」を設置して有識者との意見交換等を実施。

#### 令和6年度

過去のモデル事業では、平日と休日で指導者が異なることを生徒・保護者が不安に感じており、廃部・休部の進む部活動の仕組みは限界であることから、令和8年に平日・休日ともに地域移行する方向性について発表した。

#### 令和7年度

コベカツクラブの登録・管理・相談対応体制を構築し、さらなる団体の掘り起こしを進める。中学校施設の環境整備を行い、スタッフが受講するWeb研修機能を構築し、次年度の本格実施に向けて、一部のコベカツクラブでは先行実施を行う。

#### 令和3・4年度

あり方検討委員会の設置、検討開始

#### 令和5年度

市独自で合同部活動のモデル実施

#### 令和6年度

6月「地域移行の考え方」発表  
スケジュール発表

方針策定、コベカツクラブの第1次募集

#### 令和7年度

コベカツクラブの先行実施（新種目中心）

#### 令和8年度

コベカツ本格実施

#### 令和5年

実証事業では経費の観点から継続性に課題があることから、独自でモデル事業（垂水区の5校にて休日の学校部活動を近隣校と合同実施）を実施。参加生徒には好評であり、顧問教員の負担軽減にもつながった。

児童・保護者のニーズを把握するためアンケート調査を実施し、活動主体となる「コベカツクラブ」のあり方に関する方針を策定し、体験会の実施や戦略的な広報活動により取り組みの周知に努めた。令和7年1月～2月にコベカツクラブの第1次募集を行い、620団体に申請いただいた。

#### 令和8年度

中学3年生の部活動引退等をもって部活動を終了し、コベカツを開始する。登録されたコベカツクラブを市ホームページで公表し、生徒の申し込みを促す。現状考え得る課題を解決したうえで開始できるよう、必要な予算等を確保する（予定）。

# 3. 今後の方向性

## 地域移行の推進に向けたロードマップ



※先行実施は、新種目を中心に実施予定

